

東京同友会文京支部 2009 年度第 7 回 11 月幹事会レジメ

開催日：11 月 4 日(水)18:30～20:00 会場：東京同友会会議室

20:00～21:00：「起業変革支援プログラムで自社をセルフチェック」

参加者：飯塚 森下 田川 奥長 越川 新井 佐久間 今野 小池@事務局 (順不同・敬称略)

報告事項 18:30～19:00 司会：飯塚

### 1. 会勢 前回幹事会～9/29 現在

文京支部 69 名 期首 69 名 東京同友会 2105 名 リレー例会での入会者 25 名 (10/30 現在)

ご入会 0 名

退会 0 名 (旭工業 山田氏 連絡つかず)

### 2. 各部会/同好会報告

理事会・委員会・協議会関係

- ・ 理事会報告 …… ※資料 1

■リレー例会や増強について意見交換を行ったほか、企業変革支援プログラム・同友エコへの参加目標が 200 名であることが確認されたとの報告がありました。

- ・ 教育委員会 (10/21)

■若手リーダー養成講座・同友会大学が年明けに三回開催することが企画中であるとの報告がありました。

- ・ 経営労働委員会 (10/21) 成文化セミナー

■神野氏(新協印刷)が参加中であることが報告されました。

- ・ 西部協関係… (10/30)

第 18 回経営研究集会 実行委員会について

■実行委員は越川氏であること、順番からいけば文京が担当ではあるが、実行委員長を立てることは難しいことが確認されました。

- ・ その他

支部内委員会・部会及び企画の報告

- ・ くらしと産業

■9/15 に栢尾氏を報告者に地方中小の医療機関の苦境について報告され、25 名が参加したとの報告がありました。

■1 月は長谷部食品さんを報告者に検討中、障害者雇用について報告することが検討されていることが報告されました。

- ・ 組織部(新井氏) 11 月 5 日に交流会 (@事務所会議室) 現在参加 10 名→13 名の参加

■ 幹事中心に電話による一本釣りを行った。

■ シートがとても活躍したとのことで、大変盛り上がったようでした。(11 月 9 日 事務局小池)

- ・ 経営指針セミナー(越川氏)...

一泊講座 10/11・12 次回 12/9 の告知 来期以降継続して開催する

■一泊講座は 7 名の参加、じっくりと指針作成ができたことが報告されました。

- ・ おじゃましますの会(組織)…10/22 (株)ライロ 田辺氏 参加者 5 名

■ C I (コーポレートアイデンティティ) を核にブランディング戦略を企業間の連携もとりながら推し進め、プロデュース。企業パンフレットなどを作成しているとのこと。

■ C I とは何のために経営しているのか、企業がサービスなどを提供することで何に貢献しているのかという、より突っ込んだ理念(企業理念)が必要であること。

■ 以上の内容が当日話されました。

- ・ 経営指針研究会（月1回）担当幹事真下氏 11月25日 @新協印刷会議室 報告者は玄田氏
  - 以上の企画について日程などが確認されました。
- ・ 気軽なランチの会・・・ 次回 11/11 @ダイニングCoo
- ・ 文京支部ゴルフコンペ 10月31日
  - 7名参加したこと、次回から3組でプレーできるようにしたいことなどが報告されました。
- ・ ゴルフ交流 次回 11/25)
  - 上段の文京支部コンペとの趣旨の違いを確認しました。
- ・ 特別企画実行委員会
  - これまでの成果を生かすイベントを開催する。
  - 参加目標40名（6割） 12月から2月までの間 担当者は各部委員会委員長
  - 実行委員会が11月11日開催されることが報告されました。
- ・ 憲章勉強会企画
  - 日程 1月28日 18:30～ ■報告者 静岡同友会代表理事 杉村 征郎氏（杉村精工(株)会長）
  - 会場 文京区民センター 3-C 会議室

#### 討議事項 19:00～20:00

#### 1. 政策部 アンケート実施について報告と討議 ※資料2

##### 意義

アンケート案 実施の方法と集約

- 江口氏・奥長氏より共同提案され、実施することが承認されました。
- リーマンショック以降の会員企業の現状を把握する目的で実施し、年内に集約、翌年度の総会にて報告することが確認されました。
- アンケートの内容について議論されました。わかりにくい点を修正し、早急に送信、集約することが承認・確認されました。

#### 2. 例会について(例会委員会 森下氏) ※資料3 企画書P9 チラシP10 案内P11

11月例会 グループ長研修の報告及び参加動員のとりくみについて

- ・ グループ長研修報告
  - 10/28 12:00～14:00 にグループ長研修が開催されました。リハーサルを兼ねたこと、グループ長担当者がグループ討論を実際に行って、当日の進行について議論したことが報告されました。
  - 別紙資料のシート(別紙添付)を事前に記入して持参すること、討論テーマは「自社の強み(技術・経験・歴史など)を見つめ、新商品・新サービス・新企画を1つ見つけ出してみよう。」であることが報告されました。
- ・ 参加動員の手立て
  - 担当者を決め、11月5日の交流会とあわせて電話によるお誘いをしていることが報告されました。
- ・ チラシとは別に例会案内を支部内に配布
  - 翌日の交流会で配布すると共に FAX 送信することが確認されました。

#### 4. 三役会報告・提案

一泊幹事会について

- 一泊では実施しないことが決定されました。
  - 1/31(日)ないし2/7(日)に拡大幹事会を開催、総括・方針案の策定、次年度総会の企画を行うこと
  - その次の幹事会でも引き続いて議論を行うこと
- 以上の内容が提案承認されました。

## 5. 忘年会について 組織部提案

日程 12/11. 12/07. 12/08が候補日

企画、会費(5000円～7000円程度)、準備物などについて

18:30～20:30

会場候補 ・ ロマーノ 4300円(2時間 少々調整可能)

・ 風我 4200円(1.5時間 2時間で退場)

■ 日程：12月7日(月) 18:30～、会場：ロマーノ(大塚)、会費：6000円、支部財政を補填するような企画を組織部中心に検討することが提案承認されました。

## 6. その他

近況報告 会員動向などについて(わらび座 今野氏)

近々公演があること、わらび座さんの近況などが報告されました。

次回幹事会：12月1日(水) 於 東京同友会会議室

三役会：12月24日(火) 12:30 於 新協印刷B1F 会議室

東京同友会賀詞交換会 1月19日 於 アルカディア市ヶ谷

以降 公開幹事会企画 企業変革支援プログラムで自社をセルフチェック

※まず、奥長氏より「企業変革支援プログラム」についてその意義など解説されたのち、各自セルフチェックを行いました。その後行われた懇親会で感想が話し合われました。

※また、オープン幹事会という位置づけにもかかわらず参加者は幹事中心であったため、告知のやり方などに課題が残りました。

## 第7回理事会報告

日時 10月13日(火) 午後2時~4時30分

会場 「アルカディア市ヶ谷」

議長 小泉副代表理事

開会あいさつ 湯本代表理事

出席 (敬称略・順不同)湯本 良一(大田)、小泉 一明(新宿)、湯野川 恵美(港)、小暮 恭一(台東)、河原 八洋(豊島)、水戸部 良三(台東)、富塚 孝(台東)、板橋 和彦(渋谷)、池田 大(品川)、秋元 次春(大田)、向出 裕子(代理・渋谷)、栗田 美和子(豊島)、豊福 雅典(千代田)、茂木 益雄(千代田)、窪田 幸郎(千代田)、中島 秀男(中央区)、石黒 淳(港)、仲田 喜義(新宿)、田川 晃(文京)、松本 晋一郎(中野)、中山 瑞穂(杉並)、古仲 裕二(新宿)、高室 純一(目黒)、藤波 昭(世田谷)、石垣 世紀(品川)、丹野 喜仁(板橋)、阿部 敏夫(練馬)、菅野 誠紀(荒川)、高田 照和(葛飾)、長澤 眞也(墨田)、永松 廣子(江東)、小柳 忠章(三多摩)、松林 信介(事務局)、以上33名(代理1名)事務局 林、大西、米田、岩本

開会あいさつ 河原副代表理事

□報告事項

- 1、会務報告・報告事務局長(7/14理事会以降)

9月の入会数12名、9月の退会数141名、期首会員数2075名、9月末会員数2091名、中同協・対外活動、DOR 判定会議報告、講師活動、マスコミ報道、9月支部・委員会等行事、東京都の新たな保証付融資制度の紹介。

- 2、各委員会・部からの報告

小暮共同求人委員長が2011共同求人参加企業募集について、活動申し合わせ、参加費用(昨年55万円が39万円)、合同企業説明会開催日程、3つの参加コースなどについて説明し、理事に活動への参加を呼びかけました。

秋元経営労働委員長が第32期経営指針成文化セミナーは受講生26名、サポーター15名の41名でスタートしたこと。「企業変革支援プログラム」について11月までに東京同友会として200社のデータを蓄積するために次回11月の理事会で議題として取り上げてほしいと要請しました。

窪田教育委員会委員が10月20日に予定している「20~30代のためのリーダー養成研修」について参加を訴えました。また、同友会大学開催についての概要を説明しました。向出エコ委員会委員が中同協の Do Yu Eko(同友エコ)へのエントリーについて東京として200社を目標にしたいと提案、そのために支部や理事会でエントリーをすすめてほしいと要請しました。また、11月11日に東京都の環境施策を学ぶための研究会の内容を紹介しました。

- 3、その他

松林事務局長が事務局の人事や業務に関して下記のような報告を行いました。

産休に入っている寺澤事務局員が9月20日に無事女兒を出産したこと。

山口事務局員の休職が12月まで延長になったこと。

金刺事務局員が10月6日に定年となり、嘱託として再雇用になったこと。

尚、相田事務局員が担当している教育委員会については今年度大西次長が分担する変更について。以上の報告がありました。

□承認事項

- 1、9月の入会者の承認 12名 議長より提案され承認しました。

- 2、「としまものづくりメッセ」についての後援名義使用許可について  
河原副代表理事が趣旨を説明し後援名義の使用を承認しました。

## □議題

### 1、秋の活動の充実をはかる活動について

小泉副代表理事が会員数の状況について報告、厳しい経済状況の中、退会も増えており、秋のリレー例会を増強につなげていただきたいと訴えました。また、10月1日に開催された第2回協議会議長会議では、1支部でできない例会や新会員オリエンテーションの交流、支部活動の教訓や運動課題を交流することなど支部合同・相互乗り入れ・活動交流・支援などの機能について話し合ったと報告しました。また、次回支部長会議は11月18日(水)午後6時30分より「アルカディア市ヶ谷」で開催すると報告しました。事務局林次長よりさらに詳しいリレー例会の取り組みについて報告がありました。

討議では、秋のリレー例会や増強の取り組みについて交流しました。

### 2、政策課題及び「中小企業憲章」制定推進本部よりのお願い

水戸部副代表理事が下記のような内容を報告しました。

- ① 10月1日～2日開催された中同協・憲章本部・政策委員会合同会議では、中同協の「中小企業憲章草案第一次案」について来年の3月までに討議をすすめ、7月の大分総会には「憲章草案」として提案することになったこと。
- ② 東京同友会の憲章制定推進本部としては、各協議会や支部で討論会をお願いしています。別紙のマトリックスや同友会はどうして「中小企業憲章」制定をめざしているのですか。という資料を活用していただき開催をお願いしたいこと。講師については推進本部のメンバーを中心に派遣すると報告しました。

以上の提案をもとに、学習や討論会を行った支部等からその内容を報告していただきました。報告した渋谷支部の向出氏は「幹事会で板橋理事に報告していただいたところ、大変分かりやすく自社との関わりで考えることができよかったです」と報告しました。また、中野支部の松本理事は「阿部理事に報告していただき討論しました」と報告しました。都心協議会は11月15日に三宅氏を講師に勉強会を予定しています。

### 3、フリー討論(抜粋)

- ・0.7%—0.5%の中小企業予算。同友会として何も対策をしなくても良いのか。
- ・葛飾では、産業フェアが企業400社・参加者5万人で例年行われる。何とか増強に結びつけるようにしていきたい。区の仕事にも積極的に結びつけたい。例会は非常に活性化している。11月は120年続いた団子屋さん。なぜ長く続いてきたのか。様々な対策を打っている。例えば年間1億円近くを行政から観光費用として捻出しているなど、いろいろ可能なものを活用している。
- ・エコプロジェクトを是非進めていただきたい。杉並支部はエコに関して様々な活動を行っている。区のエネルギー協会と支部での勉強会を行うなど、先週はパッシブルハウスの話などであった。今月は発明協会の方の話の予定。
- ・墨田では増強は4名プラスはいける。10月だけでも3人入る。例会の参加者数は5割は今年に入って増えている。その要因は2つある。1つは、幹事会ではなく運営委員会としてどなたでも参加できると呼びかける事で、皆来る。幹事会当時の3倍の参加があり運営の理解も深まる。2つ目はネクストといった組織。30代から40代の方や入会して2年以内の方のチーム。その方々の話しを聞くと60代の方とは対で話が出来ない、との事。若手や入会して間もない本来、やる気のあるこの方々を前面に押し出すことで活性化をはかる。10月例会は若手会員が悩みを打ち明ける。
- ・青年部をどう活性化するか協議会議長会でも話があった。
- ・事業協同組合はどのようにお役に立てるか考えている。10/5.6で企業連携推進協議会があ

りこれに参加してきた。従来、事業協同組合は、参加者のコストダウンを中心に利便性の迫及を行ってきたが、一步進んだ仲間を増やす活動に目を向けねばならないと考えている。理事会でも企業連携の話が弱いのではないか。事業協同組合でも具体的に考えていきたい。

- ・月刊中小企業家の11月号はちょっと薄くなった。ページ数が少なくなっている。また、11月には朝日新聞のシニアライターの方にご寄稿いただいた。このような方にご寄稿いただくと機関誌の品格が高まる。各支部で活動をされている内容を月刊中小企業家に掲載申し上げるので、どんな小さな記事でも良いのでお寄せいただきたい。支部で支部ニュースを出されるのは大変であろうから、こちらをご利用いただきたい。
- ・政策部では、税制についてこれからは深く調べていく方向。憲章であるが、渋谷で行った学習会の感想では『マトリックス』や『なぜ目指すのか』の資料を読めば分かるというのが我々の立場だが、月刊中小企業家の8月号に理念的なものを掲載している。こちらの意見を3月の二次案に込める為には、学習会を継続してやっていく必要がある。素朴な疑問でもあげていただきたい。できるだけ取り上げていく。定期的に統一見解出ている。決定ではないのでいろいろな人の意見を聞いて貰いたい。
- ・新しい会員の方々のための歓迎例会を開催した。9月は八王子支部立ち上げに向けての会合も開いている。ただ、同じ三多摩地域なのに11時半を過ぎると帰れなくなってしまうなど、それなりに困難さもあることを実感した。新しい会員は経営の勉強がしたいと期待して入会する。他の会を辞めてこの会に入りたいと云っていただいたりもしている。三多摩地域の人は情報にまだまどうといのでどんどんPRしていきたい。
- ・10月、江東は墨田支部と合同で開催する。長澤氏に来ていただき、お話していただいたりしている。中央区と新宿の支部の会に参加し学んで、ランチの会を開催している。明日の例会では会員外の方が参加する。まず入会したら辞めないように努力する。江東区民祭りでは6つコーナーをもらっており、45万人の参加が例年あり、支部では物販をして喜ばれている。また支部への収益は区の社会福祉協議会へ寄付している。
- ・神奈川同友会の研修会に参加したが、若い方が多くて良かった。東京も若い方が活躍できる場が必要と思った。その為にはどのような知恵を出したら良いか考えさせられた

### 3、その他

①中同協企業環境センター20周年行事「中小企業の活路はどこにあるか」別紙案内  
議長より参加の訴え

②次回第8理事会：11月10日(火)午後6時～8時30分：「アルカディア市ヶ谷」

#### 確認

閉会あいさつ「憲章制定など同友会の良いところが社会に理解される状態がでている。大変な時期ではあるが、この機会を逃さずに活動を発展させていきたい。各支部ではなるべく連携をはかっていただきたい。協議会議長はお飾りではなく連携をはかっていただきたいと思う。次はそのような成功事例をお持ちいただきご参加いただきたい。」